

「きねいな町びんろ」

小田原市立城北中学校

三年 配島 璃帆

テレビやネットニュースでは、毎日のように犯罪に関わるニュースが報道されている。警察はその都度出動し、捜査をして犯人を捜している。何か日常的にそれが繰り返されているように思われる。警察や地域の人たちは罪をなくすため、あるいは少なくするため防犯について考え、行動していると思います。

そこで自分でも何かできることはないかと思ひ、「犯罪をなくすために私たちにできること」というキーワードにてインターネットで検索してみました。その結果、防犯活動への参加、犯罪被害者への理解、再犯防止への協力などの言葉が検出されました。

私はその中から「防犯活動への参加」について詳しく調べてみました。その具体的な活

動は徒歩による夜間の見回りなどの地域の防犯パトロール活動、落書き消しや清掃などの地域の環境浄化活動、防犯教室や街頭などでの防犯キャンペーンを行う防犯広報活動、子どもの安全を守るための登下校時などの見守り活動などがありました。

今までは特に気にしていなかった行動が私たちが生活するなかで深く関わり、そして助けられていることを感じました。

では、私達中学生の立場から見て「犯罪をなくすためにできること」は何なのかを考えってみました。私は中学1年のとき、地域のボランティア活動の一環として、きれいな町づくりのための活動に参加しました。それは青少年を育成する団体が主催して地域の公共施設にあるプランターに花を植えるものです。参加者は生徒とその保護者、ボランティアのメンバーです。

そこでメンバーはグループに分かれて学校の校舎周り、交番の入口、公民館の玄関とい

った公共施設に飾りました。私はその活動に参加したのが初めてでしかも、周りに知っている人が少なくどうしたら良いのかわからず戸惑っていたら他のボランティアの人たちが親切に教えてくださり、途中から楽しく活動をすることができました。

このように初めて会った人と会話しながら作業をすることでコミュニケーションが取れたことはとても大切なものだと感じました。

私は次の年もこの活動に参加しましたが、前の年に一度経験していたので周りの人ともコミュニケーションを取りながら作業もスムーズにできたと思います。また、初めて参加した人に対しても積極的に声をかけられたのではないかと思いました。

こういった小さな活動は私が卒業した後も毎年継続して実施され、参加する人数も増えていき犯罪を防止する活動が広がっていくことが大切なことだと感じました。

そして、このような活動に多くの人たちが

参加するようになれば街もきれいになり人々の心も豊かになって犯罪のない明るい社会が増えてくるのではないでしょうか。